平成27年度　目標管理シート （課別組織目標）

課かい名	土木課	課かい長名	松本浩二

組織目標	1.便利で快適な道路整備を進めます。 ・新八代駅へのアクセス強化を図ります。 ・歩道等のバリアフリー対策を図ります。 2.適切な維持管理に努めることで、災害に強い道路整備を進めます。 ・防災・減災の観点から計画的に法面崩壊等の対策を図ります。 ・橋梁の現状を把握することによる計画的な維持管理を図ります。

課重点事業番号	今年度取り組む重点施策とその具体的目標等				変更内容	中間レビュー （10月1日時点）		目標の達成状況（3月末時点見込）		次年度に向けて（引継ぎ事項）	
	課重点事業 関連重点施策番号・支所重点事業番号	①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか） ②課題、特記事項等		具体的目標を達成するための具体的な方法、手段、スケジュール等		・上半期（4月～9月）における進捗状況（活動実績等） ・下半期（10月～3月）に向けた課題等	中間進捗度	・目標達成のために行った取組（活動実績等） ・その取組による効果(達成できなかった事由、理由等)	達成度	①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか） ②課題、特記事項等	
土木課 ①	**東西アクセス道路（新牟田西牟田線）の整備促進** 建設部②	①具体的目標	平成25年度から事業を開始し、これまでに測量・設計等の調査を実施し、平成26年度末までの進捗率が8%の状況である。今年度は、当路線と事業地が一部重複する県道・八代鏡宇土線との交差点周辺から、家屋移転補償並びに用地取得を進め、年度末までに進捗率20%を達成する。	当該交差点周辺の家屋移転補償並びに用地取得を進めるために、交差点形状を確定の上、県と市の事業地区分を明確にした「覚書」を早急に結ぶ必要がある。 〇6月まで 公安委員会との交差点計画協議を終える。 〇7月まで 県と「施工区分等に関する覚書」を結び、双方の費用負担額を確認する。 〇年度を通して 事業地が重複する物件に対して、県市協働で移転補償を進め、3月までに契約を締結する。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	県事業と重複する区域の用地取得には、施工区分並びに補償金等の負担方法を決める必要があるが、公安委員会との交差点協議が難航しており、取得すべき用地が確定していない状況にある。							②課題・特記事項等	
土木課 ②	**歩行空間バリアフリー化推進事業の実施** 建設部②	①具体的目標	歩道の段差解消や傾斜の緩和を計画的に進めており、現計画路線延長約11kmに対して、昨年までの整備率が約82%の状況である。今年度は、5路線・延長約650mの整備を実施し、整備率88%を達成する。	本事業は、歩道の改善に向けて地元との協力関係の中で進めることが肝要である。計画や測量段階から、意見交換や協力要請を行いながら進める。 〇5月まで 地元説明を行い、測量・設計業務委託を発注する。 〇8月～12月 地元関係者の了解を得て、各予定箇所の状況に応じて計画的に工事を発注する。 〇3月まで 工事を完了する。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	以前から歩道が設置されている道路の両側には、既に家屋等が建ち並んでおり、歩道面の高さの変更が難しいこともあり、地元住民の理解と協力が不可欠である。							②課題・特記事項等	

課重点事業番号	今年度取り組む重点施策とその具体的目標等 課重点事業 関連重点施策番号・支所重点事業番号	①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか） ②課題、特記事項等		具体的目標を達成するための具体的な方法、手段、スケジュール等	変更内容	中間レビュー （10月1日時点） ・上半期（４月～９月）における進捗状況（活動実績等） ・下半期（１０月～３月）に向けた課題等	中間進捗度	目標の達成状況（3月末時点見込） ・目標達成のために行った取組（活動実績等） ・その取組による効果（達成できなかった事由、理由等）	達成度	次年度に向けて（引継ぎ事項） ①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか） ②課題、特記事項等	
土木課 ③	**道路防災点検に基づく災害防除の実施** 建設部③	①具体的目標	市道の切土のり面や付帯する道路防災施設に生じている異常（老朽化、劣化、変状等）調査を平成２６年度までに実施し、今年度は、特に緊急性が高い４箇所ののり面災害防除に取組む。	今年度着手予定の４箇所は、単年度で完了する箇所ではないことから、これからも計画的に継続して整備する必要がある。 〇８月まで 測量設計を終える。 〇９月～１２月 現場の状況に応じ、計画的に工事を発注する。 〇３月まで 工事を完了する。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	調査結果から、対策が必要な３４箇所を抽出し、その中でも特に緊急性が高い箇所から、事業を進めている。計画的に進めるためには事業費の確保が重要である。							②課題・特記事項等	
土木課 ④	**橋梁長寿命化計画に基づく修繕の実施** 建設部③	①具体的目標	老朽化する橋梁数の増大に対応するため、従来の事後的な対応から、予防的な修繕及び計画的な架替えへの転換を図り、費用の縮減を図る目的で「長寿命化修繕計画」を策定している。これまで橋長７ｍ以上の４５８橋の内、９橋の補修工事を実施しており、今年度は緊急に措置を講ずる必要がある７橋の補修並びに詳細点検業務委託を実施する。	今年度実施予定の７橋については、年度内に実施設計及び補修工事の一部着工を計画している。また、詳細点検業務委託の対象数が４００橋と膨大なことから、期間的にも余裕のある発注に努める。 〇６月～８月 点検業務委託及び補修実施設計を発注する。 〇６月～１２月 現場の状況に応じ、計画的に工事を発注する。 〇３月まで 今年度実施の点検と補修工事を完了する。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	昨年７月、５年に１回の近接目視による点検が義務化された。頻度を高めて丁寧に点検することに異論はないものの、予算や人材確保の観点から、今後の進捗に影響を与えはしないか危惧される。							②課題・特記事項等	